

# 小・中学校の特別支援教育の 一層の推進に向けて

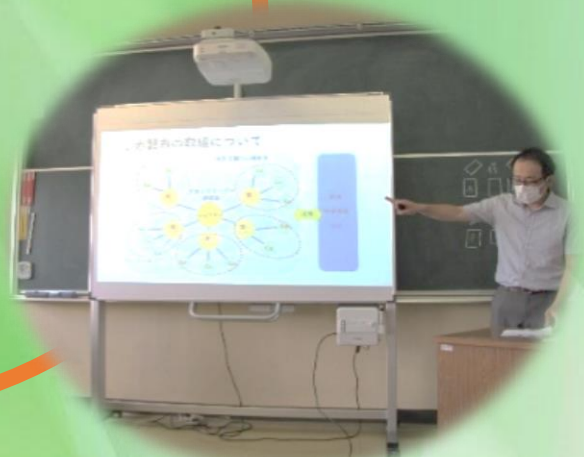
～特別支援教育推進リーダーを中心とした取組～



推進リーダーの指名



人材の育成



専門性の向上

令和5年3月

岡山県教育庁特別支援教育課

# 小・中学校の特別支援教育を一層推進するにはどうすればいいの？

## ☆学校からの主な相談内容

特別な支援が必要な子どもへの対応はどうすればいい？



通常の学級・特別支援学級の授業、自立活動を充実させるには？

個別の教育支援計画・指導計画の引継ぎと効果的な活用は？

校内支援体制づくり、関係機関との連携はどうすればいい？

特別支援教育を推進する人材を育成するためには？



## ☆解決に向けて

- ①全ての教職員の特別支援教育に関する専門性を向上させる！
- ②特別支援教育コーディネーター(以下、「特支Co.」)が役割を果たし活躍する！
- ③近くの学校園・関係機関等と情報共有・連携をする！



分かっているけれど具体的にどうすればいい？

### ささえる

通常の学級・特別支援学級の授業力向上

### ひきつぐ

個別の教育支援計画等の活用と引継ぎの充実

### つなぐ

医療、市町村、関係機関との連携の強化

### 研修の充実

- ・校内研修
- ・オンデマンド研修
- ・OJT
- ・教育センター、市町村主催の研修等

### 特支Co.同士の連携

- ・新任の特支Co.に役割や仕事内容を伝授
- ・年間の仕事内容の確認
- ・他校の校内研修の講師
- ・中学校進学児童の情報共有等

### 関係機関等との連携

- ・地域の関係機関、地域の人材等の活用
- ・国、県、市町村からの情報の共有と伝達
- ・特別支援学校のセンター的機能の活用等

市町村内や中学校区内の特別支援教育を推進するリーダーを中心に行う！

※第4次岡山県特別支援教育推進プランにおいても目標としています。

## 市町村、地域全体の特別支援教育の推進

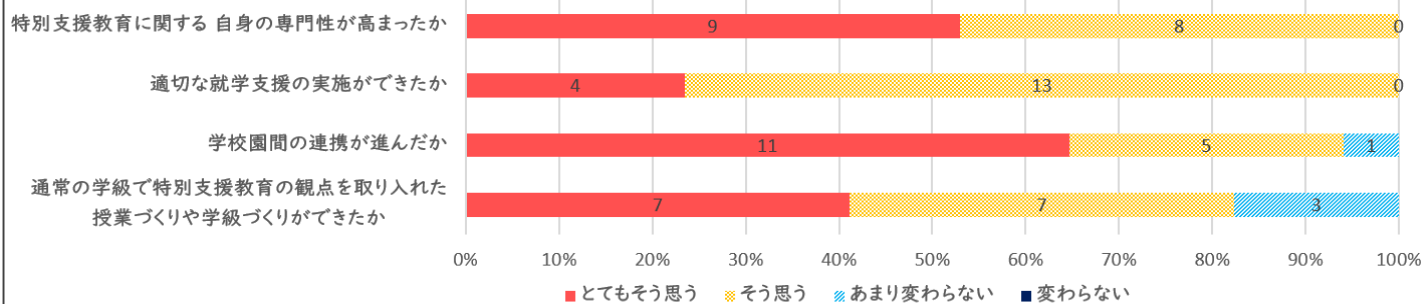


既存の「市町村教育研究会特別支援教育部会」、「特別支援学級担当者会」等を生かしながら市町村や各中学校区に「特別支援教育推進リーダー」を指名し、各校の特支Co.を支える仕組みづくりが大切です。

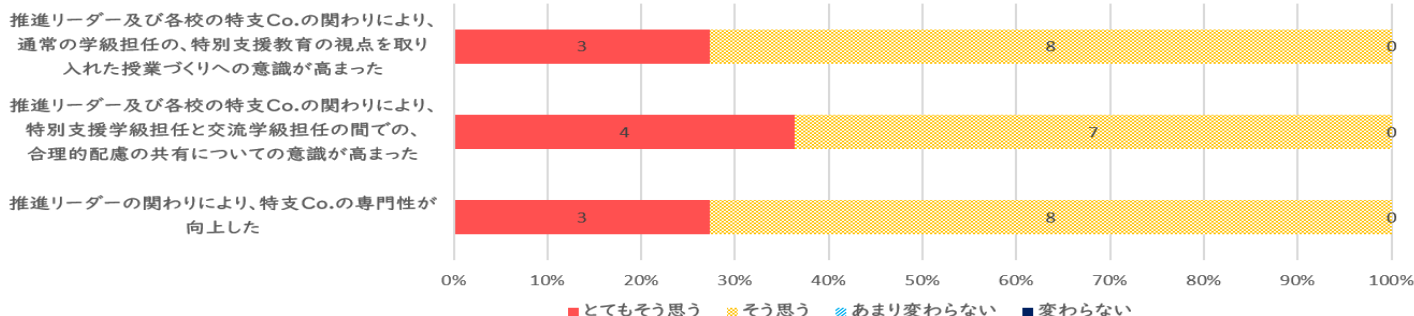
# 特別支援教育推進リーダーがいると、どんな効果があるの？

## 研究指定市における教職員の意識の変化

赤磐市における特別支援教育コーディネーターの意識の変化 n=17



瀬戸内市における校長の意識の変化 n=11



## ☆研究指定市・研究指定校の声



市教育委員会  
特別支援教育  
担当者

特別支援教育推進リーダーが、各校の特支Co.に市の就学の手続きや国・県の通知等を伝え、各校に持ち帰ることで、管理職だけでなく、実際に現場で中心的に動く先生にも正しく情報を伝えることができ、市全体の特別支援教育の推進につながっています！

初めて特支Co.になった先生にとって、中学校区の特別支援教育Co.会があることで、具体的な役割や仕事を学ぶ機会となっています。困った時には、他校の特支Co.に聞くことができることも心強いです。夏休みに特別支援教育推進リーダーが本校で研修を行ってくれたのもありがたかったです！



小学校  
校長



特別支援教育  
推進リーダー  
小学校 教諭

同じ中学校に入学する子どもが多く、情報共有や共通理解ができます。研修資料も共有できるので助かっています。地域の関係機関等の情報や各校の取組も参考になります。各校の管理職の理解があるから、他の学校に行っても気兼ねなく活動することができました！

## ☆他にもこんな効果が・・・

- 市全体の個別の教育支援計画等の活用や引継ぎが充実した。
- 医療・福祉機関・行政等との連携が強化された。
- 通常の学級・特別支援学級の授業力が向上した。
- 市全体の特別支援教育が推進した。
- 自立と社会参加を見据えた指導が小・中学校段階で着実に積み上げられる体制を整えることができた。



# 特別支援教育推進リーダーはどんなことをするの？

## 所属校の特支Co.として

- ・子どもの実態把握
- ・担任等との相談
- ・教職員への研修
- ・ケース会議での助言
- ・関係機関、教育支援員等との連携
- ・保護者相談の窓口 等



## 中学校区内の特支Co.のリーダーとして

- ・他校の特支Co.のサポート
- ・国、県、市町村の特別支援教育に関する資料の情報提供
- ・特別支援教育に関する通信の発行
- ・校内支援委員会やケース会議での助言
- ・推進リーダー会の開催
- ・中学校区特支Co.の開催
- ・他校の教職員への研修



具体的には・・・

## 推進リーダー会の開催



## 中学校区特支Co.会の開催



- ☆参加者 各中学校区の特別支援教育推進リーダー
- ☆開催 学期に1回の開催
- ☆内容 各中学校区における取組の紹介  
個別の教育支援計画の活用と引継ぎ  
就学支援に関する共通理解 等

- ☆参加者 小・中学校の特支Co.
- ☆開催 2か月に1回の開催
- ☆内容 推進リーダー会の内容の伝達  
児童生徒の情報交換  
各校における取組の情報交換 等

## 教職員への研修



在籍校だけではなく、要請に応じて中学校区内の他校の研修を夏季休業中に行いました。

## 情報提供



国・県・市等の情報や活用のできる資料を各校の特支Co.に情報提供を行いました。



自分のできそうなこと、得意なことからはじめました！

# 特別支援教育推進リーダーの年間の活動例 ※は必要に応じて行うもの

	所属校の特支Co.としての活動	中学校区での活動	市町村の動き
4月	<input type="checkbox"/> 引継ぎ資料の確認 <input type="checkbox"/> 児童生徒の実態把握 <input type="checkbox"/> 共通理解を行う場の設定 <input type="checkbox"/> SC・SSWとの打合せ会 ※	<input type="checkbox"/> 第1回〇〇中学校区特支Co.会 (中学校区の特支Co.との顔合わせと年間の会議日の決定)	第1回就学支援説明会
5月	<input type="checkbox"/> 個別の教育支援計画の作成と見直しについて教職員に説明		小学校教育研究会 中学校教育研究会
6月	<input type="checkbox"/> 巡回相談の要請 ※ <input type="checkbox"/> ケース会議の開催 ※ <input type="checkbox"/> 教育支援員との打合せ会 ※	<input type="checkbox"/> 第2回〇〇中学校区特支Co.会 (関係機関の情報共有、夏休みの研修の企画・協力)	教育支援員対象研修会
7月	<input type="checkbox"/> 個別懇談への同席 ※ <input type="checkbox"/> 校内支援委員会(学びの場の検討)		
8月	<input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・こども園・小学校訪問 <input type="checkbox"/> 個別の教育支援計画の見直し <input type="checkbox"/> 個別の指導計画の評価と見直し <input type="checkbox"/> 校内研修の実施	<input type="checkbox"/> 第3回〇〇中学校区特支Co.会 (就学の考え方の整理、校内支援体制整備について)	市町村主催の研修会 第2回就学支援説明会 小学校教育研究会 中学校教育研究会
9月	<input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・こども園・小学校訪問 <input type="checkbox"/> 校内支援委員会(学びの場の検討)		
10月	<input type="checkbox"/> 就学時健康診断への協力と入学する幼児の保護者への関わり(小のみ)	<input type="checkbox"/> 第4回〇〇中学校区特支Co.会 (個別の教育支援計画の活用、事例検討)	
11月			特別支援教育支援委員会
12月	<input type="checkbox"/> 個別懇談への同席 ※ <input type="checkbox"/> 中学校見学 ※	<input type="checkbox"/> 第5回〇〇中学校区特支Co.会 (国・県の動向、ICT活用)	小学校教育研究会 中学校教育研究会
1月			
2月	<input type="checkbox"/> 教育課程編成会議	<input type="checkbox"/> 第6回〇〇中学校区特支Co.会 (中学校に進学する児童の情報共有、個別の教育支援計画の引継ぎ)	
3月	<input type="checkbox"/> 個別の教育支援計画の見直し <input type="checkbox"/> 個別の指導計画の評価と見直し <input type="checkbox"/> 資料の整理と引継ぎ準備	<input type="checkbox"/> 保・幼・小連絡会 <input type="checkbox"/> 小・中連絡会	



内容や回数等は、市町村や各中学校区の実情に合ったもので、無理のない範囲で継続していくことが大切です!

特別支援教育コーディネーターの専門性向上による  
適切な就学支援の実施と学校園間の連携強化に関する取組

課題 「適切な学びの場の見直し」「学校園間連携の充実」

①「ささえる」～特支Co.の専門性向上のための組織づくり～

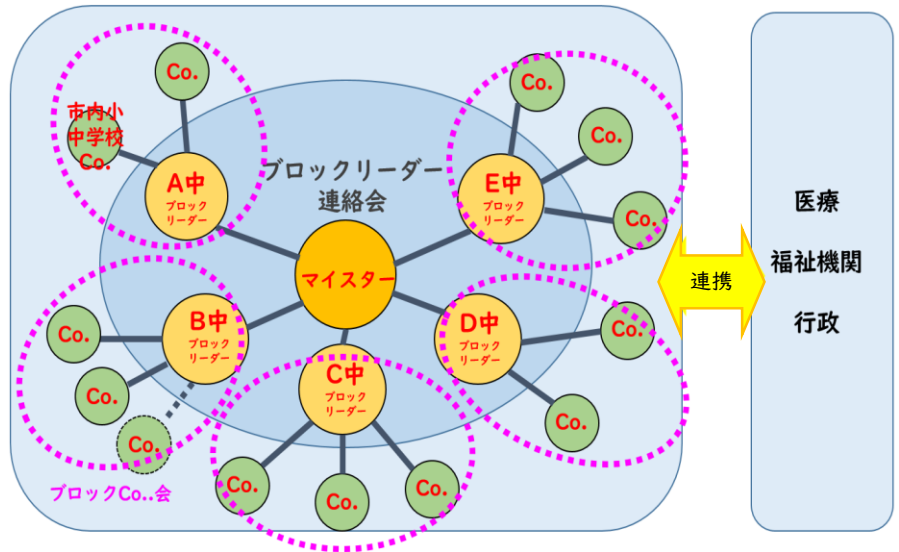
特別支援教育推進リーダー（マイスター）を中心とした組織づくりを行い、定期的に連絡会を実施することで、各校の特支Co.の専門性の向上と各校の特別支援教育の推進につながった。

「ブロックリーダー連絡会」

- ・中学校ブロックごとに「特別支援教育推進リーダー（ブロックリーダー）」を任命
- ・連絡会では、マイスターが進行を務め、就学支援、授業づくり、個別の教育支援計画、教育課程、自立活動等について研修や情報交換

「ブロックコーディネーター連絡会」

- ・中学校ブロック単位で実施。各小中学校の特支Co.が参加
- ・ブロックリーダー連絡会の内容の伝達や小・中学校間での情報交換等



②「つなぐ」～研修会の実施と適切な学びの場に関する共通理解の促進～

様々な関係機関と連携した研修会を行うことで、特別支援教育に必要な知識を学ぶとともに、校種の違う学校関係者同士だけでなく、福祉や行政分野の関係者とも知り合うきっかけとなり、その後の連携につながった。また、適切な学びの場に関して、関係機関と共通理解を図ることができた。



就学支援担当者研修会（市内公私立保育園・こども園、幼稚園、小学校、中学校から参加）

特支Co.研修会（市の小中教研特別支援部会と共催）



「学校・相談支援事業所・児童通所事業所連絡会」（社会福祉課と共催）

外部講師による「通常の学級における特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり」研修会（校内研修、他校からも希望者が参加）



③「ひきつぐ」～園への巡回相談の同行による適切な就学支援の実施に向けて～

市の保健部局と共同で実施している巡回訪問へ、特別支援教育推進リーダーや小学校の特支Co.が同行し、園での様子を知り、就学に向けて情報共有することで、小学校へのスムーズな入学につながった。



《同行したブロックリーダーの感想》

幼児教育でどのような支援を行っているか具体的に分かり、配慮が必要な児童の見立てや支援の実際が分かってよかったです。

専門家の助言から、発達段階における行動か、障害の特性による行動かを学ぶことができました。





通常の学級における特別支援教育の推進  
～個別の教育支援計画を活用した合理的配慮～

課題 「個別の教育支援計画の活用」「人材の育成」

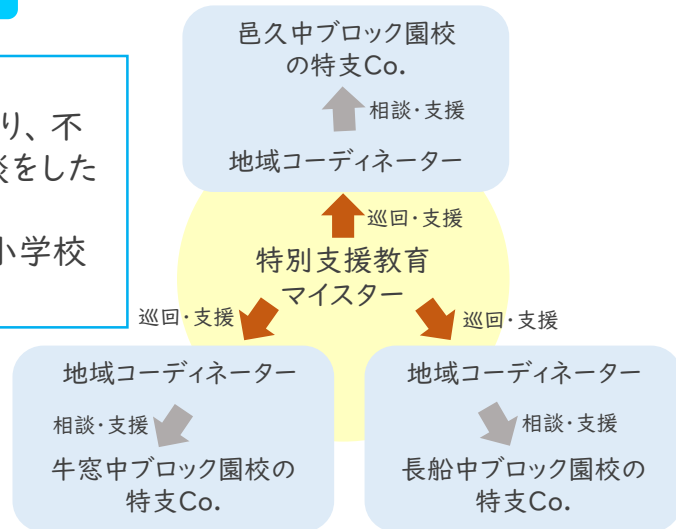
①「つなぐ」～瀬戸内市の体制づくり～

<課題>

- ・特支Co.の経験や学校内での分掌等が様々であり、不安や学校が抱えている課題について、校内で相談をしたり、解決策を見出したりすることが難しい。
- ・中学校区の特支Co.同士で話す機会が少なく、小学校同士の連携、小・中学校の連携が不十分である。

定期的なコーディネーター会の開催による  
特支Co.の専門性の向上とつながりづくり

特支Co.同士で、不安や課題を出し合い、  
みんなで解決を目指す体制に!



\*地域コーディネーターとして、  
各中学校の特別支援教育コーディネーターを任命

②「ひきつぐ」～個別の教育支援計画の様式の統一～

<課題>

- ・学校によって様式が異なる
- ・中学校入学後に、新たに作成する学校がある
- ・記入の仕方の統一
- ・保護者の同意の確認の方法が異なる
- ・継続した支援のための十分な活用

- 岡山県の様式をもとに、  
「引継ぎ」と「活用」をキーワードに
- ・各中学校区で検討
  - ・瀬戸内市コーディネーター会で集約
  - ・令和5年度運用開始予定

③「ささえる」～各学校の特別支援教育の充実～

- 授業改革推進員との連携による通常の学級の授業参観・参観シートの発行(特別支援教育の視点からの助言)
- 通常の学級に在籍する児童生徒の対応についての指導助言
- 通常の学級の担任と特別支援学級、特別支援学級担任と教育支援員との連携に向けた助言
- ケース会議や学びの場の見直しに向けた取組に対する特支Co.への指導・助言
- ケース会議への参加、助言
- 自立活動に関する研修の実施
- 特別支援教育だよりの発行



授業の工夫を紹介するたより

# 市町村教育委員会はどうすめればいいのか？

## 特別支援教育推進リーダー任命までの手順の例

- ①特別支援教育推進リーダーを市町村に1名指名するか、各中学校校区に1名指名するかを決める。(両者を兼ねても良い。)
- ②連絡会の開催について既存の組織(教育研究会や特別支援学級担当者会等)を活用するか、新たに各中学校校区に組織を作るかを決める。
- ③特別支援教育推進リーダーや連絡会の目的について校長会、教頭会等で説明を行う。(各校での教職員への説明についても依頼する。)
- ④誰を特別支援教育推進リーダーにするかを決める。  
(市町村が指名する、または各中学校校区から推薦をもらう。)
- ⑤任命する。(任命式を行う。)

### ☆イメージ

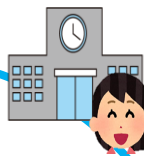
### 〇〇中学校区特別支援教育コーディネーター会

- ・特別支援学級担任
- ・A小に4年間在籍
- ・初めての特支Co.



A小学校

- ・特別支援学級担任
- ・D小に3年間在籍
- ・D小特支Co.3年間
- ・**今年度の特別支援教育推進リーダー**



D小学校

☆2か月に  
1度開催  
☆会場は  
ローテーション

- ・養護教諭
- ・今年度赴任
- ・過去に特支Co.  
の経験あり



B中学校

- ・通級指導担当
- ・C小に6年間在籍
- ・C小特支Co.6年間
- ・**昨年度の特別支援教育推進リーダー**



C小学校

## 特別支援教育推進リーダーの指名と育成

誰が

誰を

どのように

市町村教委

指名

(例)

- ・特別支援学級担任
- ・中学校区の特支Co.
- ・教育研究会代表者
- ・通級指導担当者等

育成

- ・独立行政法人国立特別支援教育総合研究所への派遣(2か月程度)
- ・県総合教育センターの研修の受講
- ・国等が開設するオンライン研修の受講
- ・おかやま発達障害者支援センターが開催する研修の受講 等

## 資料に関するお問い合わせ先

岡山県教育庁特別支援教育課

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

TEL(086)226-7912(直通) FAX(086)224-0612

<https://pref.okayama.jp/soshiki/147/>

※この資料は、県教育庁特別支援教育課ホームページからダウンロードできます。

